

圏 域 名	阪神北圏域
会 議	地域医療構想調整会議 平成 29 年度 第 1 回
日 時	平成 29 年 7 月 28 日 (金) 14 時～15 時 15 分
場 所	宝塚市立病院 (宝塚市小浜 4 丁目 5-1)
議 長	末岡 悟 (宝塚市医師会長)
出 席 者	構成員 33 名 (代理出席含む)
議 事 次 第 概 要	<p>議題事項「地域医療構想を推進するための施策と推進について」</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①地域医療構想の概要等</p> <p>②病院からの報告</p> <p>(2) 協議事項 (申請案件についての意見聴取)</p> <p>①地域医療介護総合確保基金「病床機能転換推進事業」</p> <p>②地域医療介護総合確保基金 (医療分) にかかる平成 30 年度事業提案について (提案事業 (11 件))</p>
内 容	<p>議事「地域医療構想を推進するための施策等について」</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①地域医療構想の概要</p> <p>②病院からの報告 (・市立川西病院 ・近畿中央病院)</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>(議長) 現在担っている小児救急医療二次輪番病院の機能を継続してほしいとの要望である。これに対する異議・意見はないか。</p> <p>(川西市・近畿中央病院) 異議・意見なし。</p> <p>(2) 協議事項 (申請案件についての意見聴取)</p> <p>① 地域医療介護総合確保基金「病床機能転換推進事業」について</p> <p>申請者：市立伊丹病院</p> <p>【協議結果】 当該申請案件については圏域として承認する。</p> <p>② 地域医療介護総合確保基金 (医療分) にかかる平成 30 年度事業提案について</p> <p>【質疑応答】</p> <p>(議長) ①圏域事業としての採択枠はどの程度か、②本庁内での今後の流れ、③スケジュール ④タブレット等の購入はどうか。</p> <p>(県医務課) ※Q議長質問 A医務課回答</p> <p>①全県で取り組むべき課題でもある場合は、全県事業としても整理。地域事業予算枠ではなく、全県事業と併せて予算化に向けて調整。</p> <p>②今後、「全県事業」との調整の上、医療審議会 (3 月) を経て、4 月以降に厚生労働省に事業計画を提出。採択・不採択は、翌 8 月以降</p>

	<p>になる見込み。</p> <p>③交付決定前に着手する場合は、県医務課に事前に相談。</p> <p>④基本、設備やシステムは、事業者負担として原則 1/2 の負担。タブレット等を在宅充実の情報ツールとして算定することは可能だが、財政当局からは平成 26 年度の在宅医療拠点整備事業で既に実施していることから厳しい査定となることが想定される。</p> <p>(議長) No2、9。スタッフの 31 年度以降の人件費等の確保はどうか。</p> <p>→ (No2 申請団体) 人件費の要望はない。</p> <p>→ (No9 申請団体) 30 年度の採択結果による。その後については現時点では検討できていない。</p> <p>(議長) N04。他のシステムとの連結は可能か。他の団体が当該システムを活用する場合の負担やランニング経費はどうか。</p> <p>→ (No4 申請団体) 連結・連動は可能 (と聞いている)。各病院等でプログラムソフト購入が必要である。</p> <p>(議長) No5 口腔ケアとリハとの連携はどうか。又、地域のリハ病院の立場からみて当該事業はどうか。</p> <p>→ (No5 申請団体) 多職種連携は認識済。耳鼻科医師、S T、歯科衛生士等のチーム医療を考えていきたい。</p> <p>→ (民間病院協会) 院内で口腔ケアは看護師が、外部から地域の歯科医師を活用実施。今後は、院内で歯科衛生士に実施してもらいレベルアップができればと考えている。</p> <p>○全体への質疑応答・意見など</p> <p>(議長) 川西市医療センターは増床となるが、基準病床という点ではどうか。</p> <p>→ (宝塚健康福祉事務所長) 現在、当圏域は 33 床の過剰圏域である。公募条件に病床の提供があったことから、2 病院の再編・統合という形であれば可能ではないか。</p>
協議が調った事項	<p>①地域医療介護総合確保基金「病床機能転換推進事業」市立伊丹病院からの計画内容を阪神北圏域調整会議として了承する。</p> <p>②地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる平成 30 年度事業提案について(提案事業(11件))別途意見書を添えて提出</p>
次回以降の予定	平成 29 年 9 ~ 11 月頃開催予定